



「良いワインは良いブドウから」 手作りワイナリーの夢と変革

県北農林事務所安達農業普及所



1

背景・ねらい

二本松市東和地区の農家有志が発案した、地場ワインによる地域おこし構想

地場ワイン → 耕作放棄地解消 × 若者が集まる → **地域活性化**

夢

東和果実酒研究会 (H23 設立)
ブドウを栽培

原料供給

ふくしま農家の夢ワイン (H24 設立)
ワインを醸造・販売

- ・ 会員のほとんどが**ブドウ栽培初心者**
- ・ 樹が若い**ため、生育が旺盛**

- ・ 醸造免許維持には醸造実績をあげる必要があり、**量を重視**した買い上げ

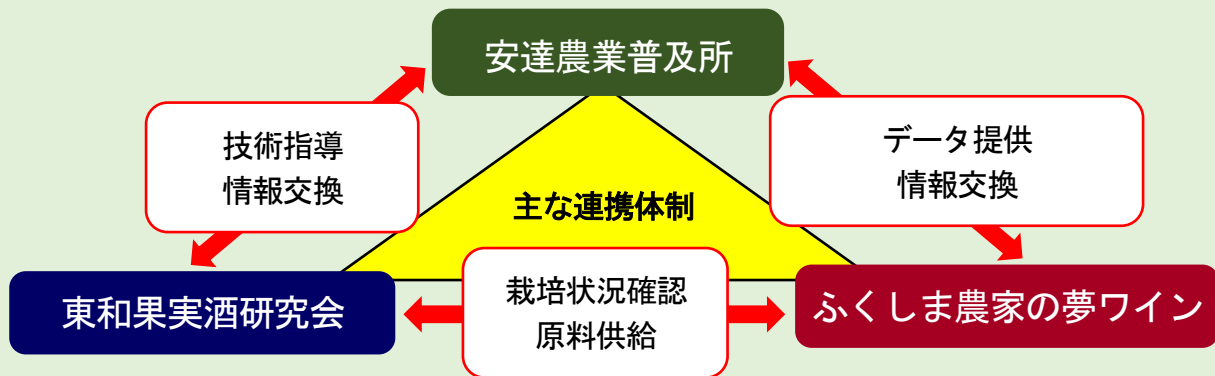
ブドウの品質が低く、ワインの品質に影響

そこで

ブドウの品質向上を目的とした支援を開始 (H30 年～)

2

活動内容



(1) 技術情報の収集

- ・ 本県にはワイン用ブドウの有効な栽培資料が少ない



- ・ 県外の栽培技術情報収集
- ・ 生食用ブドウ技術の応用



(2) 技術指導

- ・ 年3～4回の指導会
- ・ 防除暦の作成支援



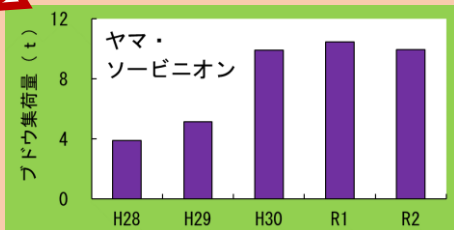
- ・ 栽培技術の底上げ
- ・ 安定生産意識の定着

摘心方法の指導



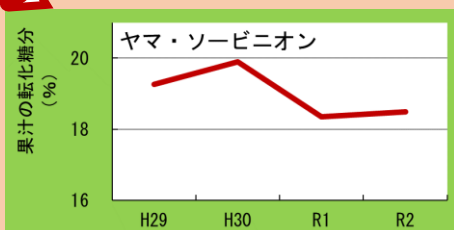
3 活動成果

変革① 着果制限による品質重視



- ・H30 までには成るだけ成らせる収量重視
- ・R1 以降は収量抑制して品質重視に切替え

変革② 転化糖分の向上



- ・R1 や R2 の低温・日照不足下でも一定水準 (18%) 以上の転化糖分を得た

変革③ ブドウ栽培技術の浸透

- ・以前の栽培管理は見よう見まねだった
- ・初心者でもわかりやすい指導により、理論に裏打ちされた栽培技術が浸透

基本管理を示した栽培資料→

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育ステージ	開花期	結実・肥大期	着色期	成熟期	収穫期	
主な作業	芽かき・結果枝の間引き					
	結果枝摘引					
	摘葉・摘房・副梢(副房)除去					
	(摘心) 摘葉・摘房・副梢(副房)除去					
	(摘葉) (摘葉) (摘葉) (摘葉)					
作業のポイント	摘葉					
	摘葉					
作業のポイント	(1) 芽かきや結果枝の間引きにより、枝の強さをそろえ、本数を調整する。 (2) 結果枝は全て真上向きにそろえて誘引する。 (3) 摘房・副房除去によって房の数(2房/結果枝を上限)や大きさを制限し、着果過多を防ぐ。 (4) 結果枝は長さ1.2mの位置で一律に摘心する。時期は樹勢により調整し、副梢は適宜処理する。 (5) 摘葉は、梅雨期の降水量や果房への防除のかり具合を見ながら、最小限を実施する。 (6) 梅雨期は病害の防除を優先し、雨前の防除に努める。					

4 今後の活動・方向性

○ ~良いワインは良いブドウから~

まだまだ生産者間でブドウ品質に差があるため、栽培技術のさらなる高位平準化を目指す

○ ~「農家の夢」の実現~

夢ワインに雇用されている若者や、ブドウを生産する新規参入者の定着を図るため、夢ワインが開催するイベント協力など、夢ワインを中心とした地域おこし活動を支援する